初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義1-1】(テキストページ　２０～３２頁)  相談支援（障害児者支援）の目的 | 講師名 | 小澤温 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。 |  |  |
| 相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。 |  |  |
| 相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。 |  |  |
| 相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義1-2①②③】(テキストページ　３３～５７頁)  相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点） | 講師名 | 熊谷晋⼀郎 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 障害について正確に説明できる。  （医学モデルと社会モデル） |  |  |
| スティグマについて説明できる。 |  |  |
| 個別性の重視、リカバリーについて  説明できる。 |  |  |
| 生活者視点、ＱＯＬの重視について  説明できる。 |  |  |
| 本人主体、本人中心の支援について  説明できる。 |  |  |
| 自己決定（意思決定）の支援について  説明できる。 |  |  |
| エンパワメント支援、ストレングスを  活かした支援について説明できる。 |  |  |
| 権利擁護について説明できる。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義1-3】(テキストページ　５８～７７頁)  相談支援に必要な技術 | 講師名 | 島村聡 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 障害児者の相談支援が立脚するソーシャルワークの理論について説明できる。 |  |  |
| ケアマネジメントの目的・基本的構造・プロセスについて説明できる。 |  |  |
| 相談面接技術と記録とその重要性について説明できる。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義2-1】(テキストページ　80～108頁)  相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス | 講師名 | 西村博一  小島一郎 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| ケアマネジメントの展開およびサービス等利用計画作成について、流れと留意点を説明できる。 |  |  |
| 多職種連携及びチームアプローチとその必要性・効果について説明できる。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義2-2】(テキストページ　109～125頁)  相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 | 講師名 | 金丸博一 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 障害のある本人の意思と家族の思いや要望に違いがある場合、相談を受けた支援者としてどういった役割を果たしていけばいいのか説明できる。 |  |  |
| 最新の地域資源に関する情報を幅広く得るために、日頃からどういった活動を行なっていくことが大切なのかを具体的に説明できる。 |  |  |
| 「地域課題」がどのように見出されるのかを説明できる。 |  |  |
| （自立支援）協議会の目的について、「社会資源の開発」という言葉を使って説明できる。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義3-1】(テキストページ127～179頁)  障害者総合支援法等の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解 | 講師名 | 大平眞太郎 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 障害福祉施策の経緯と動向、障害者総合支援法の概要ついて理解する。 |  |  |
| 障害福祉サービス等の利用の仕組みについて理解する。 |  |  |
| 苦情解決制度及び不服審査の仕組みついて理解する。 |  |  |
| 障害福祉制度と介護保険制度の関係性について理解する。 |  |  |
| 障害福祉計画及び障害児福祉計画の概要について理解する。 |  |  |
| 地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する。 |  |  |
| 自立支援協議会の位置付けと機能について理解する。 |  |  |
| 障害者支援における権利擁護と虐待防止にかかる法律の概要について理解する。 |  |  |
| 障害福祉サービス等の提供における意思決定支援ガイドラインについて理解する。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義3-2】(テキストページ　180～197頁)  障害者総合法律及び児童福祉法における相談支援  (サービス提供)の基本 | 講師名 | 鈴木智敦 |

○ 獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 相談支援事業の成り立ち（経緯）と相談支援事業の体系について理解する。 |  |  |
| 相談支援専門員の役割について理解する。 |  |  |
| 利用者の権利擁護や虐待防止を図るうえで相談支援専門員が果たす役割を理解する。 |  |  |
| 障害福祉サービス等提供の仕組みにおける相談支援（運営に関する基準やモニタリング等）について理解する。 |  |  |
| 相談支援専門員とサービス管理責任者等の役割について理解する。 |  |  |

初任者研修講義部分　振り返り・評価シート（科目別）

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【参考動画】  令和６年度障害福祉サービス等報酬改定について | 講師名 | 大平眞太郎 |

○ 自己評価を10段階で評定し、記入する。

○　記入欄にはすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |
| --- | --- |
| 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点、重要だと思うこと等 |
|  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義１　サービス提供の基本的な考え方 | 講師名 | 髙木憲司 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 1．サービス提供の基本的な考え方として、利用者（本人）主体、自立（自律）支援、エンパワメント、ＩＣＦの障害構造、権利擁護、合理的配慮、専門性、チームアプローチ、連携等について理解し、説明できる。 |  |  |
| 2．各事業者におけるサービスの標準化と個別化について、サービス提供においてはそれぞれの事業の対象者像・サービス内容を基盤に個に応じた支援を行うことと、個に応じた支援の積み上げ・実践がサービスの標準化のプロセスとなること。また計画においては時間軸とサービス内容の２つの要素が重要であることを理解し、説明できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義2　サービス提供のプロセス | 講師名 | 鈴木智敦 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| サービス（支援）提供の流れを理解する  ・総合支援法上の支給決定のプロセスにおけるサービス等利用計画と個別支援計画の位置づけ及びＰＤＣＡサイクルを理解し説明できる。 |  |  |
| プロセスごとの内容を理解する（１）  ・初期面接から個別支援計画作成・実施までの具体的な実施内容及びポイントを理解し説明できる。 |  |  |
| プロセスごとの内容を理解する（２）  ・中間評価（モニタリング）と修正（個別支援計画の変更）までの具体的な実施内容及びポイントを理解し説明できる。 |  |  |
| サビ児管の役割と管理的側面について  ・サビ児管の４つの役割及び管理的側面（法令遵守事項）等を理解し説明できる。 |  |  |
| サービス（支援）の評価及び事業所の評価について  ・サービス評価の3つの例示とその内容及び事業の評価による利用者への質の高いサービス提供の重要性を理解し説明できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義3  サービス等利用計画等と個別支援計画の関係 | 講師名 | 有野哲章 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| サービス等利用計画と個別支援計画の関連性、その前提としての連携を理解しながら個別支援計画作成ができる。 |  |  |
| サービス等利用計画は「総合的な援助計画であり、将来計画であること」を理解し、本人と一緒に個別支援計画を作成することを意識している。 |  |  |
| 個別支援計画は、それぞれの事業所の事業（サービス）内容に基づいた計画であり、事業所内で共有することを理解している。 |  |  |
| サービス等利用計画と個別支援計画の調整等に関してサービス担当者会議等を活用することを学ぶ。 |  |  |
| 障害福祉計画と（自立支援）協議会など、ミクロ・メゾ・マクロレベルで個別支援計画が繋がっていることを意識できている。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義4-1（生活介護、療養介護分野）  サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント | 講師名 | 河原雄一 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 生活介護・療養介護分野における、サービス内容の整理としてサービスマニュアルの必要性について理解し説明できる。 |  |  |
| 生活介護・療養介護分野における、アセスメントを高めるためサービス提供の基本姿勢及びサービス提供の視点について、理解し説明できる。 |  |  |
| 生活介護・療養介護分野における、利用者に関するアセスメントのポイントについて、リフレーミング・ストレングス・意思決定支援に関し、理解し説明できる。 |  |  |
| 生活介護・療養介護分野における、アセスメントツールの必要性を理解し活用できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義4-2（知的・精神分野）  サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント | 講師名 | 本名靖 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| サービス等利用計画作成の過程を説明できる。 |  |  |
| 個別支援計画作成過程を説明できる。 |  |  |
| サービス等利用計画と個別支援計画の関係を説明できる。 |  |  |
| 知的障がい者の個別支援計画作成の留意点を説明できる。 |  |  |
| 精神障がい者の個別支援計画作成の留意点を説明できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義4-3（身体分野）  サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント | 講師名 | 高木憲司 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 1.身体障害分野におけるサービス管理責任者の役割を理解し、説明できる。 |  |  |
| 2.自立訓練（機能訓練）事業における対象者像を念頭に、アセスメント（ニーズの把握）と課題の整理、ストレングスへの気づき、先天性障害者や後天性障害者の心理状態の把握、支援の方向性を共に考えていくことの重要性等について理解し、説明できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義4-4（就労分野）  サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント | 講師名 | 鈴木大樹 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 1. 就労系サービスの役割 2. 各事業の対象者について説明ができる。 3. 各事業のサービス内容について説明ができる。 4. 各事業における傾向や動向等について説明ができる。 |  |  |
| 1. 就労支援のプロセス 2. 基本的なスキームについて説明ができる。 3. 関係機関の役割について説明ができる。 4. 就労支援の課題について説明ができる。 |  |  |
| 1. アセスメントの内容と方法 2. 職業的アセスメントの内容について説明ができる。 3. 観察評価の視点について説明ができる。 4. 職業的アセスメントのポイントについて説明ができる。 |  |  |
| 1. ポイント～まとめ～ 2. 就労分野における基本的な視点について説明ができる。 3. サービス提供の基本的な視点について説明ができる。 4. 就労分野におけるサービス管理責任者の役割について説明ができる。 5. 就労分野におけるサービス管理責任者の視点について説明ができる。 6. アセスメント及びサービス提供の環境について説明ができる。 7. 地域における連携について説明ができる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義4-4（児童分野）  サービス提供事業所の利用者主体のアセスメント | 講師名 | 金丸博一 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| 子どもの気持ちを読み取るアセスメント力についてイメージできる。 |  |  |
| 児童期における発達支援のアセスメントのポイントについて説明できる。 |  |  |
| 児童期における家族支援のアセスメントのポイントについて説明できる。 |  |  |
| 児童期における地域支援について説明できる。 |  |  |

サビ管・児発管基礎研修共通講義　振り返り・評価シート(科目別)

受講者番号：B

受講者氏名：

　 ［受講後自己評価］

* 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解したこと等）。
* 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 講義5  個別支援計画作成のポイントと作成手順 | 講師名 | 冨岡貴生 |

○獲得目標ごとの自己評価を10段階で評定し、記入する。

○記入欄はすべて記入をし、空欄がないようにする。

10　　９　　８　　７　　６　　５　　４　　３　　２　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 受講後  自己評価 | 気づきや理解した点  重要だと思うこと等 |
| サービス等利用計画から個別支援計画作成までのサービス提供におけるプロセスを理解し、実践できる。 |  |  |
| サービス等利用計画を反映した個別支援計画を作成することの必要性を理解し、作成できる。 |  |  |
| 個別支援計画を作成するにあたり、事業所を利用する際の支援内容の他に、利用者の希望や要望も取り入れた内容となっている。 |  |  |
| 個別支援計画の実施にあたり、支援スタッフと情報を共有し、一体的に支援をすることの必要性を理解し、実践できる。 |  |  |
| モニタリング時に確認された日常生活上のニーズや希望等の変化に対して、個別支援計画の修正を行い、相談支援専門員に報告することの必要性を理解し、実践できる。 |  |  |